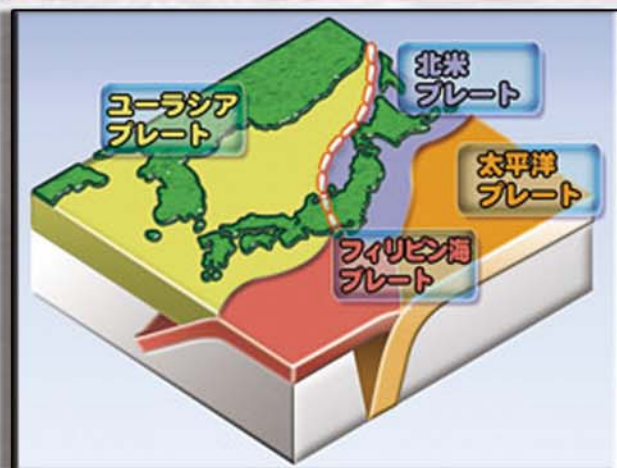


私たちを取り巻く環境



日本周辺のプレート

プレート境界型地震は大きな津波を引き起こします。このプレートは年間数cmの速度で動き、隣接するプレートの下に沈み込んでいき、限界を超えると、元に戻ろうとする力が働き、一気にねじり巨大地震を引き起こします。



日本列島は地球を覆っている十数枚のプレートのうち、**4枚のプレートの衝突部**になり、プレートの境界や活断層を震源地として地震がよく起っている**世界でも有数の地震多発帯**です。

(※) 礼文町では、上図5ケースのうち、**①サロベツ断層帯の地震 (F01)**と**②北海道北西沖の地震 (F02F03 連動)**ケースでの影響が大きいと想定されています。

津波から命を守るために

事前に備える

- 地域の地形、避難所や高台の位置を確認しておきましょう。
- 家族や職場、学校などで避難ルートやルールを確認しておきましょう。
- 要配慮者の避難方法を決めておきましょう。
- 冬季を想定した準備をしておきましょう。



地震発生から津波が来るまでに

- 高台など安全な場所に避難しましょう。
- 率先して避難しましょう。
- 海や川を見にいつてはいけません。
- 避難するときは、最大限安全な場所へ避難しましょう。



北海道「ほっかいどうの防災教育知識編」より

避難した後も

- 津波は繰り返します。警報・注意報が解除されるまでは戻ってはいけません。
- 2波以降に1波よりも大きな津波が来る可能性があります。



- 海岸地域で強い揺れを感じたら**まず避難**。海岸へは近づかない。
- 弱い揺れでも大きな津波が来襲する可能性がある。
- 津波は必ず引きで始まるものではない。

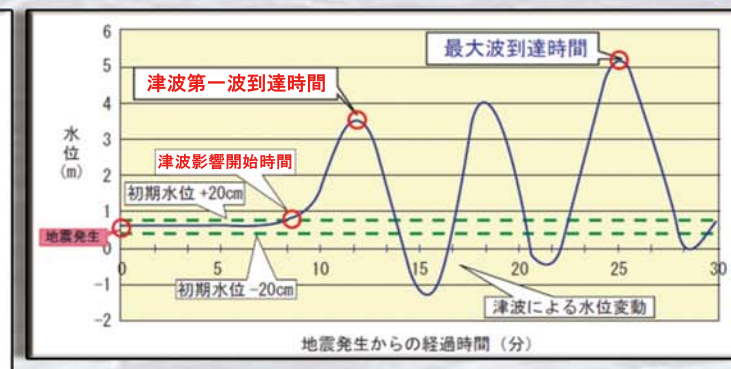
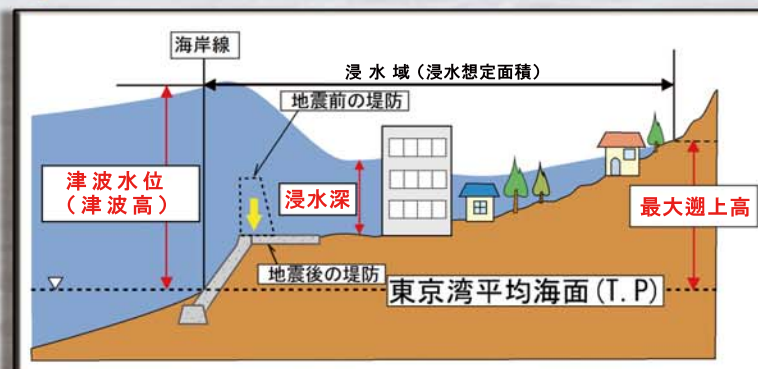
予測される津波シミュレーション結果

代表地点周辺で予測される津波シミュレーション結果

(日本海沿岸の津波浸水想定：平成29年2月発表)

地点名	① サロベツ断層帯 (F01)				② 北海道北西沖 (F02F03 連動)			
	津波影響開始時間 ±20cm (分)	津波第一波到達 時間(分)	津波水位 (m)	最大遡上高 (m)	津波影響開始時間 ±20cm (分)	津波第一波到達 時間(分)	津波水位 (m)	最大遡上高 (m)
元地	6	30	4.9	5.3	0	3	11.5	13.0
知床	9	23	5.7	6.3	0	2	8.4	9.1
香深	10	21	9.0	10.1	0	1	6.6	8.1
香深井	9	20	10.1	11.4	0	1	6.2	6.7
内路	8	19	11.2	11.9	1	1	3.9	4.6
上泊	9	18	11.1	11.1	0	1	5.0	5.3
幌泊	10	19	10.7	13.0	1	3	4.8	5.0
大備	12	29	16.3	17.0	0	3	5.2	5.5
浜中 (江戸屋)	15	23	11.1	12.7	0	2	5.3	6.3
スコトン岬	5	23	11.7	13.1	0	1	8.8	9.5
鮑古丹	5	26	16.9	19.1	0	2	11.5	12.8
鉄府	6	29	18.0	19.7	0	4	19.2	22.3
西上泊	6	29	7.8	12.0	1	2	11.3	12.3
宇遠内	4	29	3.5	3.6	0	2	8.2	9.6

(北海道総務部危機対策局危機対策課・北海道建設部建設政策局維持管理防災課)



浸水域 (津波想定面積):
海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域 (面積)
津波水位 (津波高):
津波来襲時の海岸線での海面の高さ (標高で表示)
最大遡上高:
浸水域の外縁における地盤高の内、最大の高さ (標高で表示)

津波影響開始時間:
海域を伝播してきた津波により、海岸線において初期水位から ±20cm (海辺にいる人々の人命に影響が出る恐れのある水位) の変化が生じるまでの時間
津波第一波到達時間:
海岸線において第一波の水位が最大となるまでの時間

津波避難三原則

1. 【想定にとらわれるな】

「ハザードマップ (浸水想定区域)」等で記載された警戒情報は、「あくまで予想」と考えること。相手は自然であり、**どんなことが起こるか分かりません**。自分の居る場所がハザードマップでは安全と判断される場所であっても油断しないことです。

2. 【その状況下において最善を尽くせ】

一時的に避難した場所が決して一番安全な場所ではなく、**その場所に留まることに固執せず**、より安全と判断される場所であっても油断しないことです。

3. 【率先避難者たれ】

通常私たちは「**自分は被害に遭わないだろう**」と考えがちですが、この考えを排除して**避難すること**です。「想定」に頼らず自分たちで判断するのは、とても難しいことです。しかし、いざというときには**想定以上のことを判断しなければならぬ事態が起こることを**考えましょう。